



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

株式会社
メディカルシステムネットワーク

2024年3月期 通期

業績説明資料

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード 4350

記載内容に関して

- ※ 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- ※ また、本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。

本資料につきましては、当社公式ウェブサイト (<https://www.msnw.co.jp>) よりご覧いただけます。



■ 通期の業績

売上高、各段階利益ともに前期を上回り、
計画を達成

- 前期比 -

- 売上高 +5.3%、営業利益 +21.1%
 - ・ 地域支援体制加算の経過措置終了に伴い、
処方箋単価下落 → 既存店技術料単価 ▲2.8%
 - ・ コロナ5類移行や複数の感染症の流行、処方箋
送信等のDX活用や服薬フォロー
→ 既存店処方箋枚数 +3.8%
 - ・ ネットワーク加盟店の医薬品取扱高増加
 - ・ 生産性の向上に努め、経費をコントロール

- 計画比 -

- 売上高 +1.4%、営業利益 +9.5%
 - ・ 既存店処方箋応需枚数 計画比+0.8%
 - ・ ネットワーク加盟件数は閉局やM&A等による
脱退の影響を受け、純増件数は計画未達も、
既存加盟店の仕入れが増加し、医薬品取扱高は
概ね計画通り

カッコ内は前期末比

< 地域薬局ネットワーク事業 >

地域薬局部門

- ・ 地域薬局店舗数 **450** 店舗 (+22店舗)
- ・ 処方箋単価 (全店) **10,141** 円 (▲95円)
- ・ 処方箋枚数 (全店) **9,640** 千枚 (+6.1%)
- ・ 処方箋枚数 (既存店) **9,261** 千枚 (+3.8%)

～薬局支援3事業～

医薬品ネットワーク部門

- ・ 加盟件数 **9,756** 件 (+844件)

医薬品製造販売部門

- ・ 成分数 **48** 成分 (+3成分)
- ・ 品目数 **103** 品目 (+10品目)
- ・ 取引店舗数 **4,998** 店舗 (+1,261店舗)

デジタルシフト部門

- ・ 友だち登録数 **104.9** 万人 (+40万人)
- ・ 導入店舗数 **4,682** 店舗 (+1,291店舗)

< 賃貸・設備関連事業 >

ウィステリア

- ・ 全5棟入居率 **83.0** % (+2.6%)

業績ハイライト	．．．	5
事業概況	．．．	15
2025年3月期 重点施策と業績予想	．．．	29
参考資料	．．．	40



1

業績
ハイライト

2024年3月期 通期一 連結業績

(単位：百万円)	2023/3期 (実績)	2024/3期 (通期予想)	2024/3期 (実績)	前期比		通期予想比	
				増減額	増減率	差額	達成率
売上高	109,551	113,800	115,361	+ 5,809	+ 5.3%	+ 1,561	101.4%
EBITDA ^{※1} 利益率	6,122 5.6%	6,600 5.8%	6,997 6.1%	+ 875	+ 14.3%	+ 397	106.0%
営業利益 利益率	3,163 2.9%	3,500 3.1%	3,832 3.3%	+ 669	+ 21.1%	+ 332	109.5%
経常利益 利益率	3,355 3.1%	3,450 3.0%	3,825 3.3%	+ 469	+ 14.0%	+ 375	110.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	1,610 1.5%	1,650 1.4%	1,860 1.6%	+ 250	+ 15.5%	+ 210	112.8%
1株当たり 当期純利益 (円)	53.38	54.67	61.89	+ 8.51	—	+ 7.22	—

※1 「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

	重点施策・数値目標	結果	評価
地域薬局	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン(LINE・処方箋送信) ツールを活用した処方箋獲得 既存店枚数 前期比+1.9% ■ 対人業務の強化、質の高い薬物治療の提供 ■ 医療モールを中心とした店舗開発 (15店舗) ■ 適切なコストコントロールによる生産性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 処方箋枚数 既存店 前期比 +3.8% 全店 前期比 +6.1% ■ 地域支援体制加算は期末目標を達成 ■ 新規出店13店舗、M&A18店舗 ■ 生産性の向上 薬剤師1人あたりの処方箋取扱枚数 前期比+8% 	◎
薬局支援3事業			
地域薬局 ネット ワーク 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 期末目標加盟件数 10,400件 (+1,488件) ■ 流通改善の推進 当社直営薬局 平日1日1回納品・土曜納品なし、急配減 ■ 基幹システムの改修・刷新 ■ 加盟店向けサービスの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 加盟件数 9,756件 ■ 1日1回の配送等の流通改善の取り組み推進 ■ 在宅相談 ■ 在庫情報共有サービスの提供開始 	△
医薬品 製造販売	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定供給 ■ 取引店舗の拡大 ネットワーク加盟店を含む取引店舗数 5,000店 (+1,263店) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出荷調整が概ね再開するも、売上計画未達 ■ 取引店舗数 4,998店 	△
デジタル シフト	<ul style="list-style-type: none"> ■ LINE公式アカウント導入店舗の拡大 導入店舗数 5,300店 (+1,909店)、友だち登録100万人 (+36万人) ■ 機能強化の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入店舗数 4,682店 友だち登録数 104.9万人 ■ 新たな機能の追加 	○

	重点施策・数値目標	結果	評価
賃貸・設備関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウィステリアの入居率90%達成・安定稼働 ■ 適切なコストコントロール 労務費・広告宣伝費の精査・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全5棟の入居率 83.0% ■ 相談対応強化、新規受入れ体制の見直しでウィステリア南1条の入居率向上 ■ 黒字転換 	△
給食事業・訪問看護事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ影響明け、通常運行への回帰と収支ライン引き上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕入価格の上昇により粗利低下 ■ 下期より契約単価の見直しを実施 	△
投資・財務戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ エリア連携構築のIT投資 ■ コストコントロールによる利益確保・資本積上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資案件の厳選 ■ 有利子負債の返済 	○

2024年3月期 通期一セグメント別業績

■ 売上高

(単位：百万円)

	2023/3期 (実績)	2024/3期 (通期予想)	2024/3期 (実績)	前期比		通期予想比	
				増減額	増減率	差額	達成率
売上高	109,551	113,800	115,361	+ 5,809	+ 5.3 %	+ 1,561	101.4 %
地域薬局 ネットワーク事業※1	104,399	108,391	109,904	+ 5,504	+ 5.3 %	+ 1,512	101.4 %
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	6,089	6,120	6,285	+ 196	+ 3.2%	+ 165	102.7 %
調整額	▲ 937	▲ 712	▲ 828	+ 108	—	▲ 116	—

■ 営業利益 (単位：百万円) カッコ内は利益率

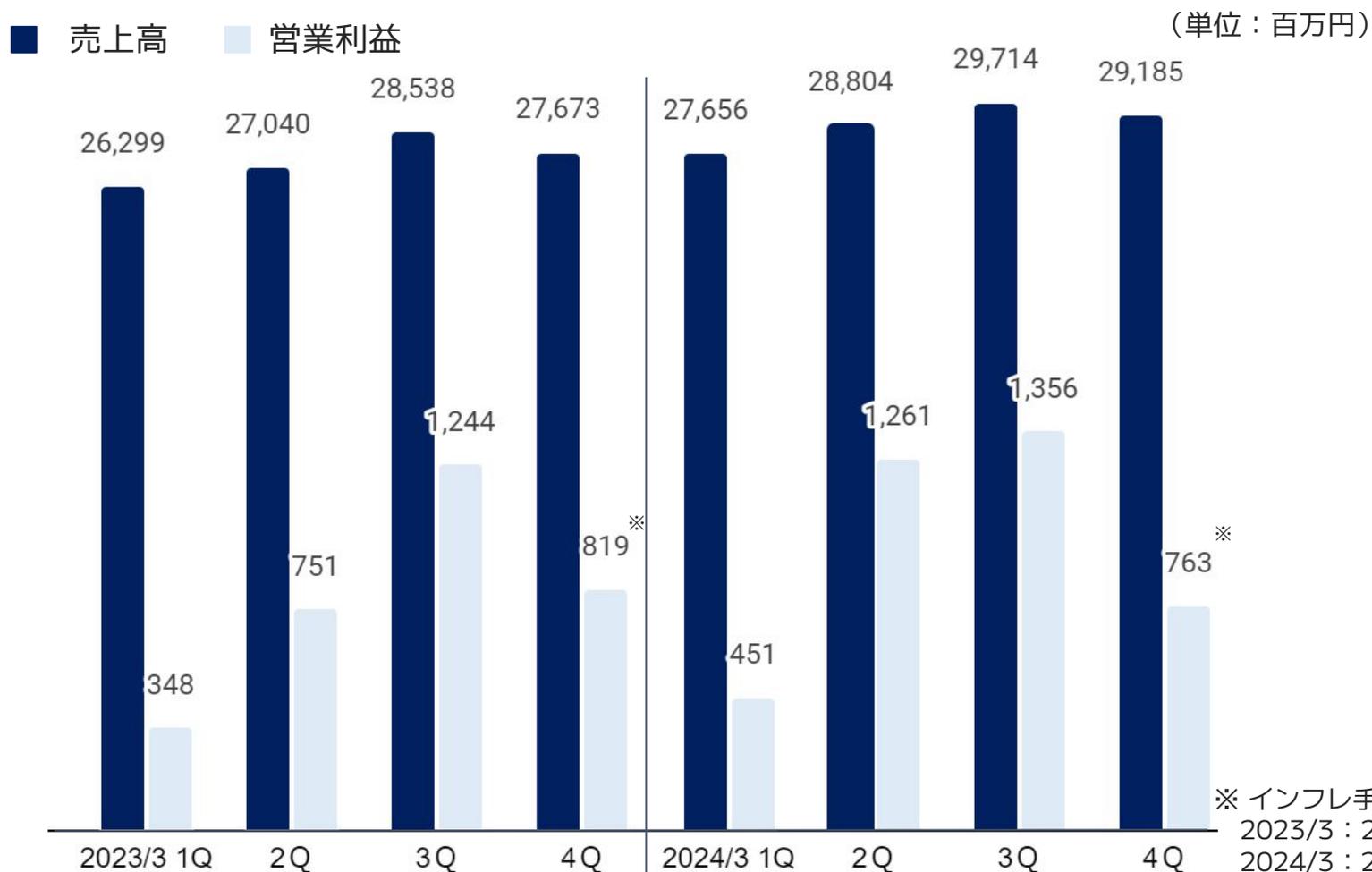
セグメント利益	3,163 (2.9 %)	3,500 (3.1 %)	3,832 (3.3 %)	+ 669 +0.4pt	+ 21.1 %	+ 332	109.5 %
地域薬局 ネットワーク事業※1	5,887 (5.6 %)	6,021 (5.6 %)	6,433 (5.9 %) ^{※2}	+ 546 +0.2pt	+ 9.3 %	+ 412	106.8 %
賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	▲ 180 (-)	115 (1.9%)	70 (1.1%) ^{※2}	+ 251 -	—	▲ 44	61.5 %
調整額	▲ 2,542 (-)	▲ 2,636 (-)	▲ 2,671 (-)	▲ 129 -	—	▲ 35	—

※1 地域薬局部門、薬局支援3事業（医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、デジタルシフト部門）

※2 2024年3月期より、薬局開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 経費の振替額 147百万円

■ 売上高・営業利益（四半期ごとの推移）

コロナ5類移行や複数の感染症の流行、服薬フォローの強化により処方箋応需枚数が増加



2024年3月期 通期一前期比要因

■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)

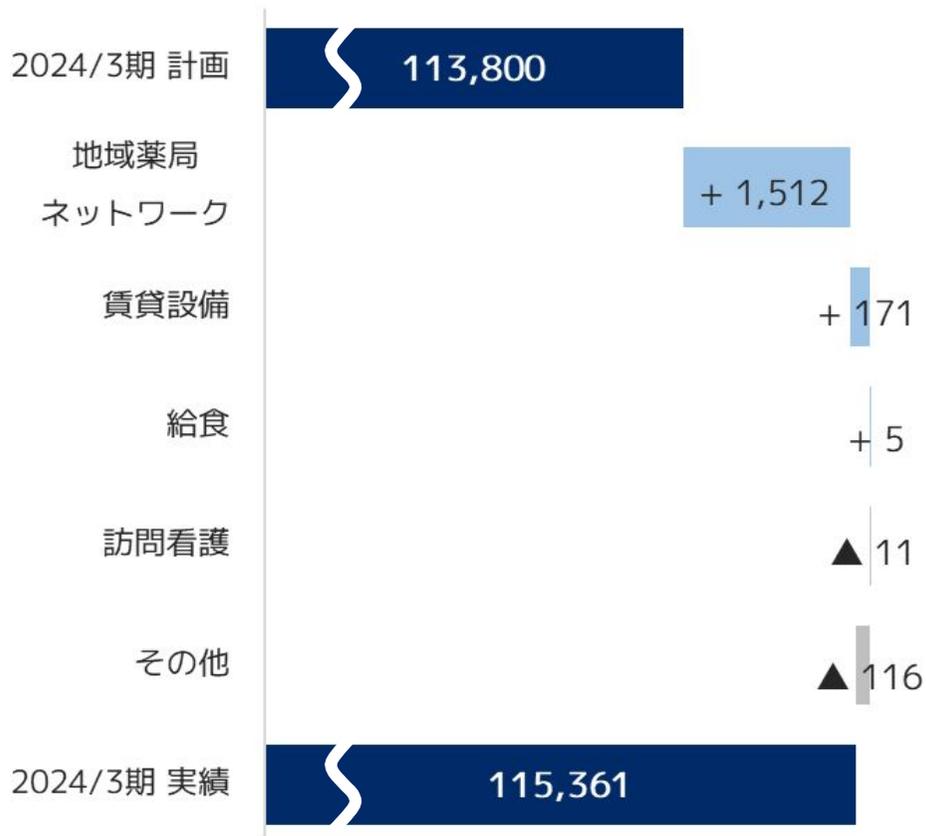


※ 2024年3月期より、薬局の開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 経費振替額 147百万円

2024年3月期 通期一 計画比要因

■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)



※ 既存店：計画比 処方箋枚数+0.8%、単価+0.7%

2024年3月期 通期一 連結貸借対照表

■ 2023年3月期末

(単位：百万円)

資産 計	66,223	負債 計	51,735
流動資産	20,265	流動負債	21,349
現預金	8,141	短期借入金 ^{※1}	6,168
		固定負債	30,385
固定資産	45,958	長期借入金	20,226
有形固定資産	27,060	純資産 計	14,488
無形固定資産	11,807	資本金	2,128
のれん	11,183	資本剰余金	1,182
投資その他の資産	7,090	利益剰余金	11,606
		自己株式	▲ 326
資産合計	66,223	負債・純資産合計	66,223
自己資本比率			21.8%

(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

24.9%)

※1 1年以内返済予定の長期借入金を含む

※2 自己資本/(総資産-現預金)で算出

■ 2024年3月期末

(単位：百万円)

資産 計	68,149	負債 計	52,930
流動資産	20,773	流動負債	23,213
現預金	8,273	短期借入金 ^{※1}	5,710
		固定負債	29,716
固定資産	47,376	長期借入金	18,309
有形固定資産	28,336	純資産 計	15,219
無形固定資産	11,281	資本金	2,128
のれん	10,613	資本剰余金	937
投資その他の資産	7,759	利益剰余金	13,100
		自己株式	▲ 882
資産合計	68,149	負債・純資産合計	68,149
自己資本比率			22.3%

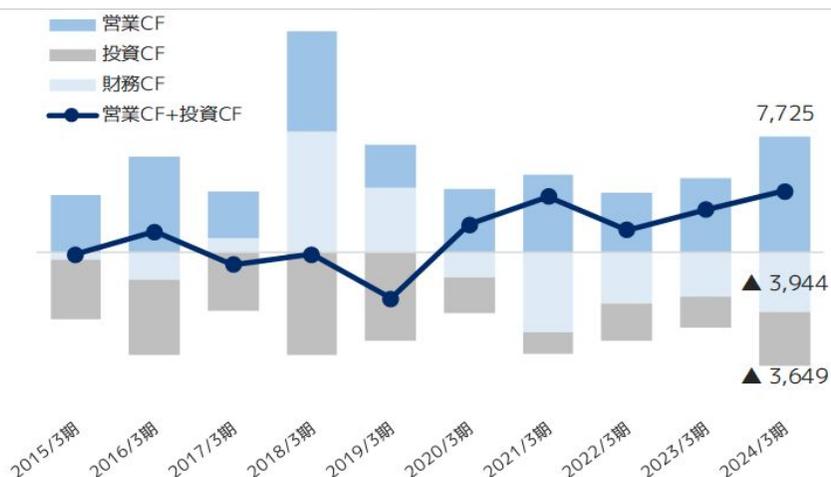
(ネットキャッシュ考慮後自己資本比率^{※2}

25.3%)

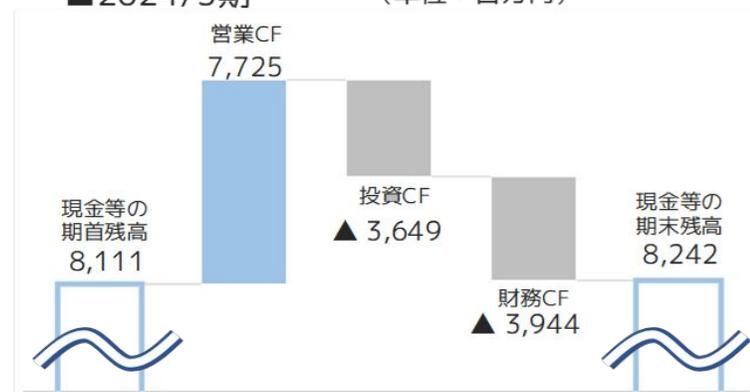
過去5年間で有利子負債97億円減少

<p>営業活動による キャッシュ・フロー</p> <p>7,725 百万円</p>	<p>EBITDA[※] 運転資本の増減による影響額 ※「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出</p> <p>6,997 百万円 121 百万円</p>
<p>投資活動による キャッシュ・フロー</p> <p>▲ 3,649 百万円</p>	<p>新規出店 既存店改修費用等 M&A（株式取得、事業譲受、事業譲渡）</p> <p>▲ 1,468 百万円 ▲ 714 百万円 ▲ 1,185 百万円</p>
<p>財務活動による キャッシュ・フロー</p> <p>▲ 3,944 百万円</p>	<p>有利子負債の減少額 自己株式の取得</p> <p>▲ 2,778 百万円 ▲ 555 百万円</p>

■ キャッシュ・フロー推移 (単位：百万円)



■ 2024/3期 (単位：百万円)





2

事業概況

地域薬局部門 — 地域薬局店舗数の推移

前期末より13店舗新規出店、M&Aにより18店舗取得、9店舗閉店・事業譲渡

①なの花薬局 南行徳店



②なの花薬局 札幌北野店



③なの花薬局 池尻大橋店



	2024/3期	
	実績	通期計画
薬局店舗出店件数	13件	15件
医療機関誘致件数	18件	10件

【山形県・鹿児島県に初進出】

コスモス薬局 新町店



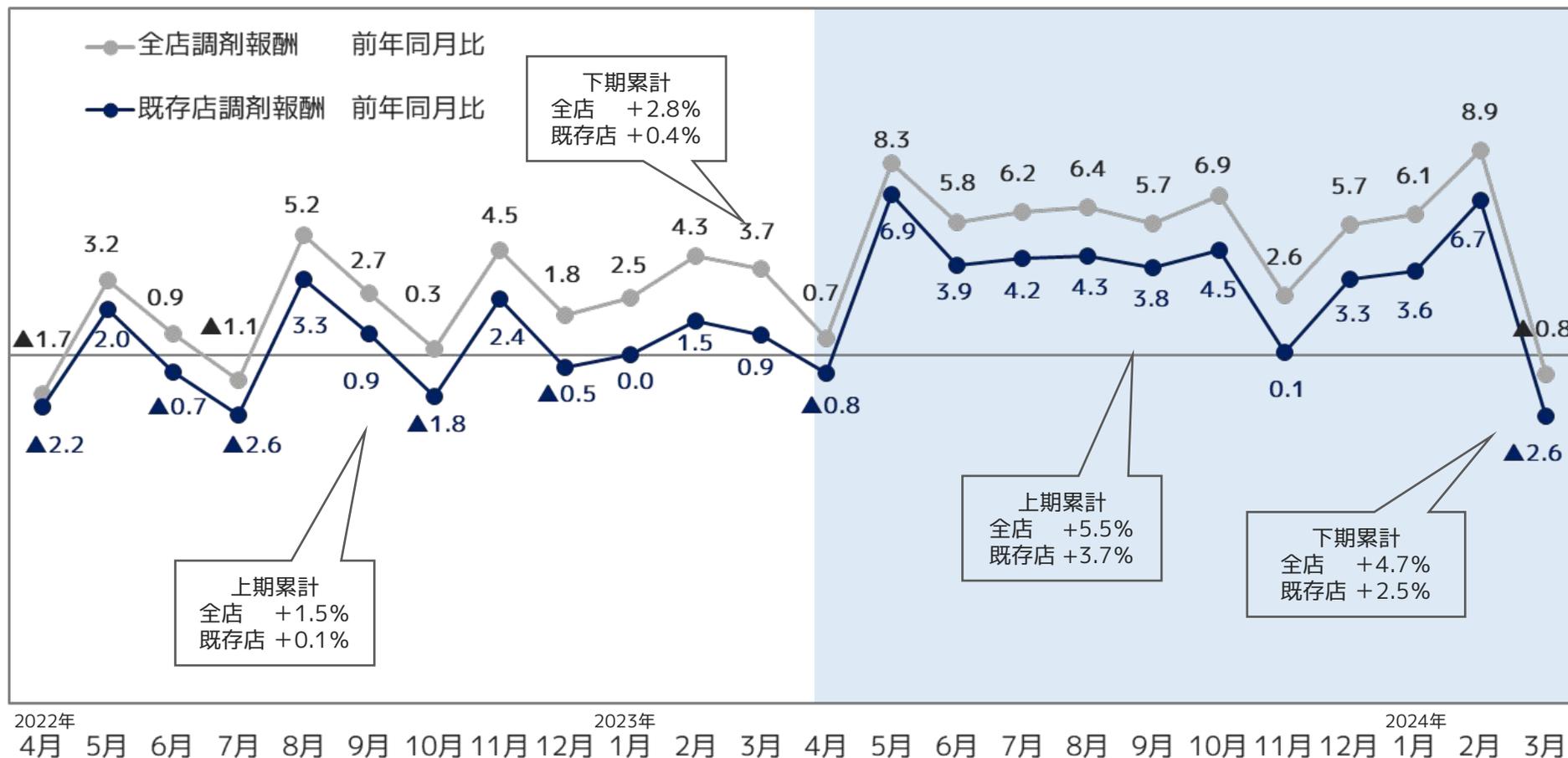
鶴丸調剤薬局 紫原店



■ 過去10年間の地域薬局店舗数の推移

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
出店	10	9	8	8	5	8	7	12	8	13
閉店・事業譲渡	▲ 13	▲ 8	▲ 4	▲ 5	▲ 14	▲ 15	▲ 13	▲ 6	▲ 7	▲ 9
M&A	27	7	20	19	30	3	6	3	2	18
店舗数	345	353	377	399	420	416	416	425	428	450

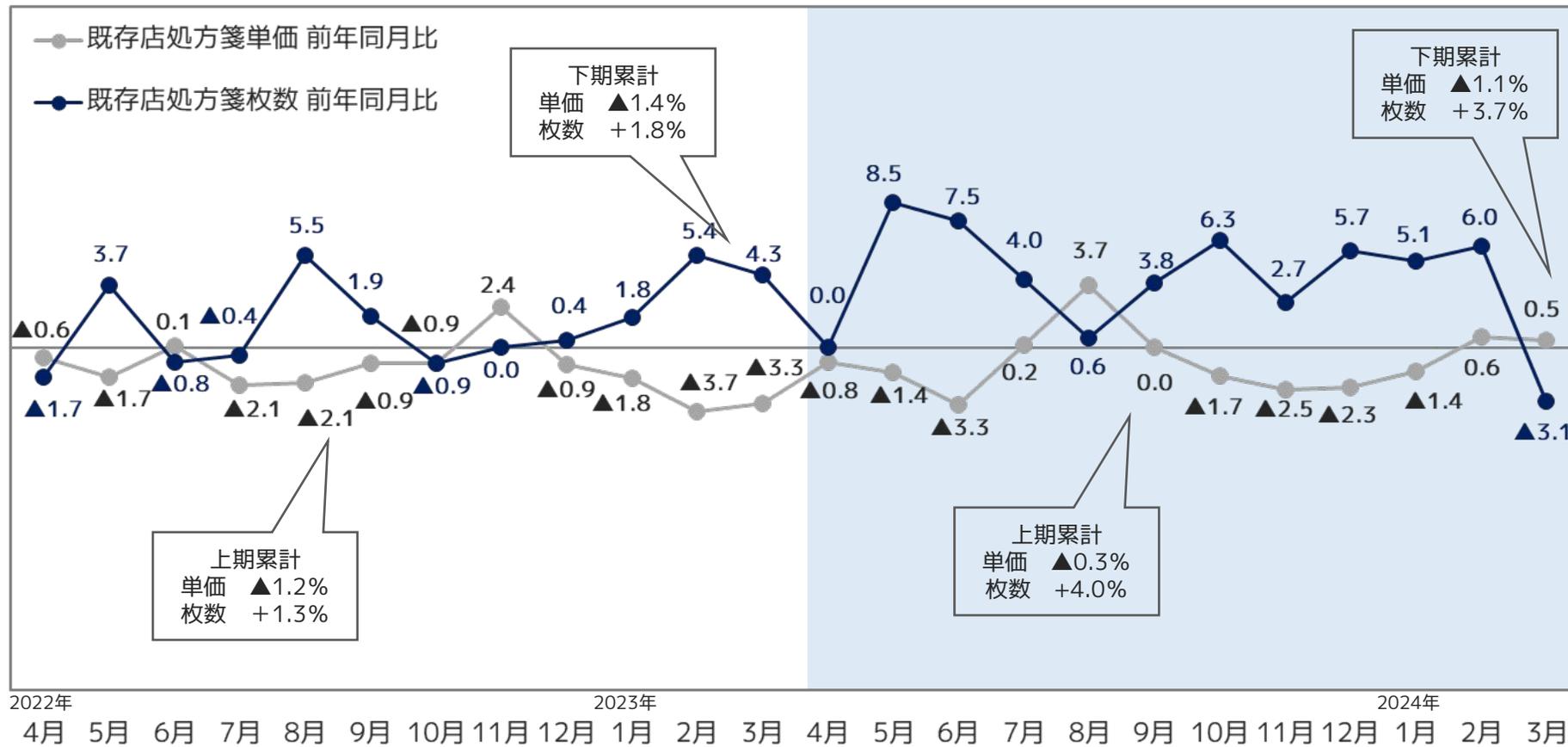
地域薬局部門 一月次調剤報酬の前年同月比較



※ 「既存店」は、前期は2021年4月1日以降、当期は2022年4月1日以降継続して開局している店舗が対象

地域薬局部門 既存店 処方箋単価・枚数の前年同月比較

- ・ 地域支援体制加算の経過措置終了に伴い、処方箋単価下落
- ・ コロナ5類移行や複数の感染症の流行、処方箋送信等のDX活用や服薬フォローにより処方箋応需枚数増加



■ 全店		2023/3期	2024/3期	増減	増減率 (%)
処方箋枚数 (千枚)		9,088	9,640	+ 551	+ 6.1%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,789	7,773	▲ 16	▲ 0.2%
	技術料 / 枚	2,446	2,368	▲ 79	▲ 3.2%
	計	10,236	10,141	▲ 95	▲ 0.9%
調剤報酬 (百万円)		93,029	97,765	+ 4,735	+ 5.1%

■ 既存店

処方箋枚数 (千枚)		8,918	9,261	+ 342	+ 3.8%
処方箋単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,748	7,741	▲ 7	▲ 0.1%
	技術料 / 枚	2,450	2,381	▲ 69	▲ 2.8%
	計	10,198	10,122	▲ 76	▲ 0.7%
調剤報酬 (百万円)		90,952	93,742	+ 2,790	+ 3.1%

※ 調剤報酬は、処方箋枚数×処方箋単価にて計算

地域支援体制加算経過措置終了により加重平均点数は前期末比減少も、期末目標を達成
引き続き対人業務に注力

	2023/3期 (2023年3月末)	2024/3期 (2024年3月末)	2024/3期 実績 (2024年3月末)	2025/3期 (2025年3月末)	
	実績	目標値	実績	目標値	
調剤基本料 改定前 基本料1 42点 基本料2 26点 基本料3の口 16点 基本料3のハ 32点 特別調剤基本料 7点	<p>加重平均点数 25.9点/枚</p>	<p>加重平均点数 26.0点/枚</p>	<p>加重平均点数 26.3点/枚</p>	調剤基本料 改定後 基本料1 45点 基本料2 29点 基本料3の口 19点 基本料3のハ 35点 特別調剤基本料A 5点	<p>加重平均点数 28.4点/枚</p>
後発医薬品調剤体制加算 改定前 90%以上 30点 85%以上 28点 80%以上 21点	<p>加重平均点数 23.0点/枚</p>	<p>加重平均点数 23.5点/枚</p>	<p>加重平均点数 24.4点/枚</p>	後発医薬品調剤体制加算 改定後 (変更なし) 90%以上 30点 85%以上 28点 80%以上 21点	<p>加重平均点数 23.8点/枚</p>
地域支援体制加算 改定前 地域支援体制加算1 39点 地域支援体制加算2 47点 地域支援体制加算3 17点 地域支援体制加算4 39点	<p>加重平均点数 27.1点/枚</p>	<p>加重平均点数 17.5点/枚</p>	<p>加重平均点数 18.7点/枚</p>	地域支援体制加算 改定後 地域支援体制加算1 32点 地域支援体制加算2 40点 地域支援体制加算3 10点 地域支援体制加算4 32点	<p>加重平均点数 14.2点/枚</p>

※ 地域支援体制加算は枚数ベースにて計算

■ 新人薬剤師から薬局長・ブロック長まで各段階を対象とする教育制度を展開

・ ベーシック教育



新人研修、OJT研修等

・ 総合教育



臨床系認証研修、病院研修等

・ マネジメント教育



薬局長、ブロック長研修等

- ・ 臨床だけでなく地域でも実践できる薬剤師を育成し、認定・専門薬剤師の育成にも注力（プライマリ・ケア認定薬剤師19名、心不全療養指導士14名等）
- ・ 学会への積極的参加と学術発表を実施（2024/3期 全国規模発表実績 43件）
- ・ 新たに「なの花臨床研究デザイン塾」がスタート

【学会・学術発表】



■ 在宅医療推進の取り組み

- ・ 疾患や居住場所に関わらず、訪問エリア等それぞれの地域性に合わせた活動を実施し、全薬剤師が在宅医療の経験を持つことを推進
- ・ 患者に関わる多職種と連携し、患者服薬管理等の在宅医療を提供
- ・ 在宅件数の増加に注力し、在宅加算算定件数が前年比+14.3%

在宅加算算定件数

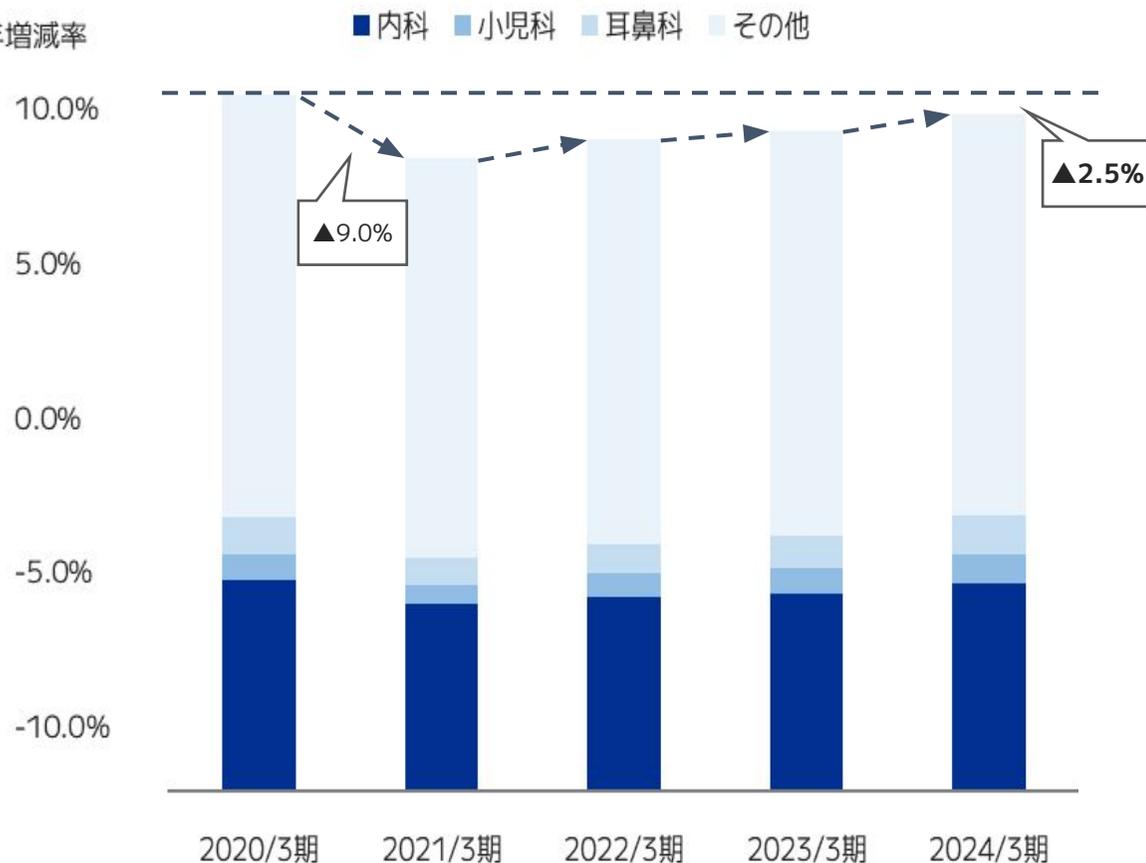


- ・ 複数の呼吸器感染症の流行により、2024年3月期は急性疾患処方が大幅に増加
- ・ コロナ禍により減少した枚数は徐々に戻っているものの、まだ戻りきってはいない

慢性疾患処方/急性疾患処方の四半期推移



直近5年間の処方箋枚数推移



医薬品ネットワークを中核に医薬品製造販売、デジタルシフトの3事業で地域薬局を支援

■ 2024/3期 数値目標に対する結果

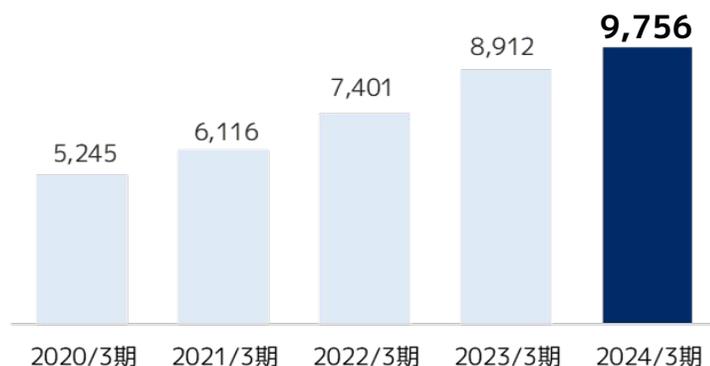
カッコ内は前期末比

	2024/3期 数値目標	結果
医薬品ネットワーク	加盟件数 10,400件 (+1,488件)	9,756件 (+844件) 9,964件 (2024年4月30日時点)
医薬品製造販売	取引店舗数 5,000店 (+1,263店)	4,998店 (毎年4月以降に取引のあった店舗数) (+1,261店)
デジタルシフト	導入店舗数 5,300店 (+1,909店) 友だち登録100万人 (+36万人)	4,682店 (+1,291店) 104.9万人 (+40万人)

※ 医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、デジタルシフト部門

加盟件数は閉局やM&A等による脱退の影響を受け、純増件数は計画を下回るも、既存加盟店の仕入れが増加し、医薬品取扱高は概ね計画通り

■ 加盟件数（実績）（単位：件）



■ 加盟件数（新規・脱退・純増数推移）（単位：件）



■ 医薬品取扱高（単位：億円）



■ 2024/3期 加盟件数内訳（新規・脱退）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
新規	342	307	357	369	1,375
脱退	▲82	▲105	▲228	▲116	▲531

（参考）2023/3期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
新規	525	420	477	439	1,861
脱退	▲114	▲59	▲95	▲82	▲350

■ 加盟店在庫情報共有サービス（2023年9月運用開始）

利用店舗数：876店舗（2023年10月31日時点）

→ 利用店舗数：1,300店舗（2024年4月30日時点）

< 在庫情報共有サービスの効果 >

- ・ 医薬品在庫の偏在を緩和
- ・ 在庫確保のための業務負担を軽減
- ・ 医薬品卸の急配の削減
- ・ 災害時の医薬品調達に貢献

➡ 各地域でネットワークを作り、地域医療に貢献



■ 自社開発の在庫管理システム「LINCLE」を提供（2023年10月販売開始）

< LINCLE導入の効果 >

対人業務強化

簡単な操作と自動発注で
患者と向き合う時間を創出

医薬品廃棄の削減

有効期限を自動取得し、廃棄
ロスにつながる医薬品を管理

効率的な在庫管理

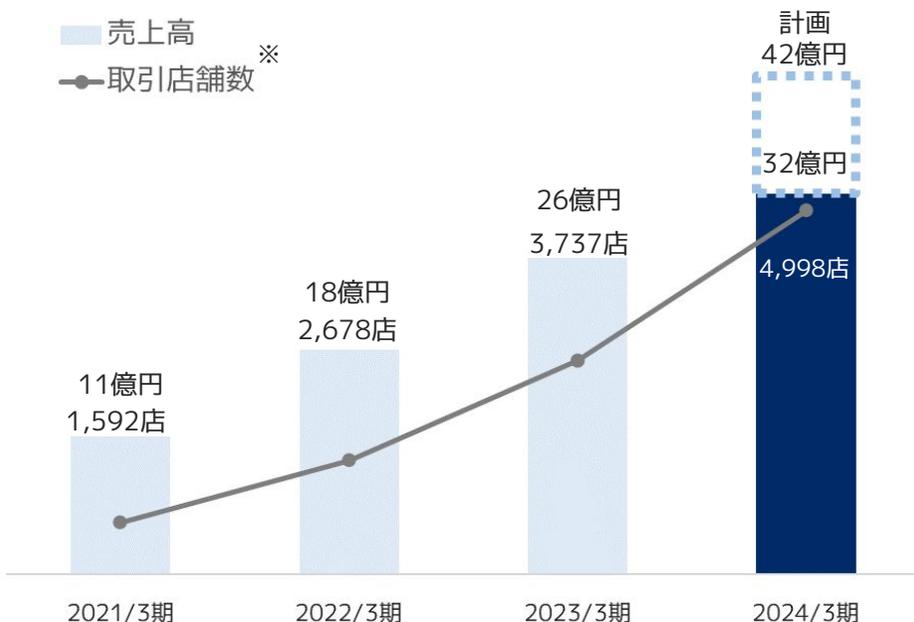
当社直営薬局のノウハウを
活かし最適な運用方法を提案

➡ 業務効率化と利益改善に貢献



- ・ 新規取引先は順調に増加し、概ね計画通り着地（前期比 +1,261件）
 - ・ 出荷調整品目の影響により売上高は計画未達も、下期後半においては随時出荷を再開
- ※3月31日時点の出荷調整品目数は3成分6品目（2023年3月期末：7成分19品目）

■ 売上高・取引店舗数



■ 今後の発売予定品

発売時期	製品名	成分・品目
2024年6月	ロラタジン錠 10mg「フェルゼン」	6成分 10品目
	ロラタジンOD錠 10mg「フェルゼン」	
	ロスバスタチンOD錠 2.5mg/5mg「フェルゼン」	
	ゾニサミドOD錠 25mg/50mg TRE「フェルゼン」	
	2成分4品目（予定）	

※ 取引店舗数は、毎年4月以降に取引のあった店舗数



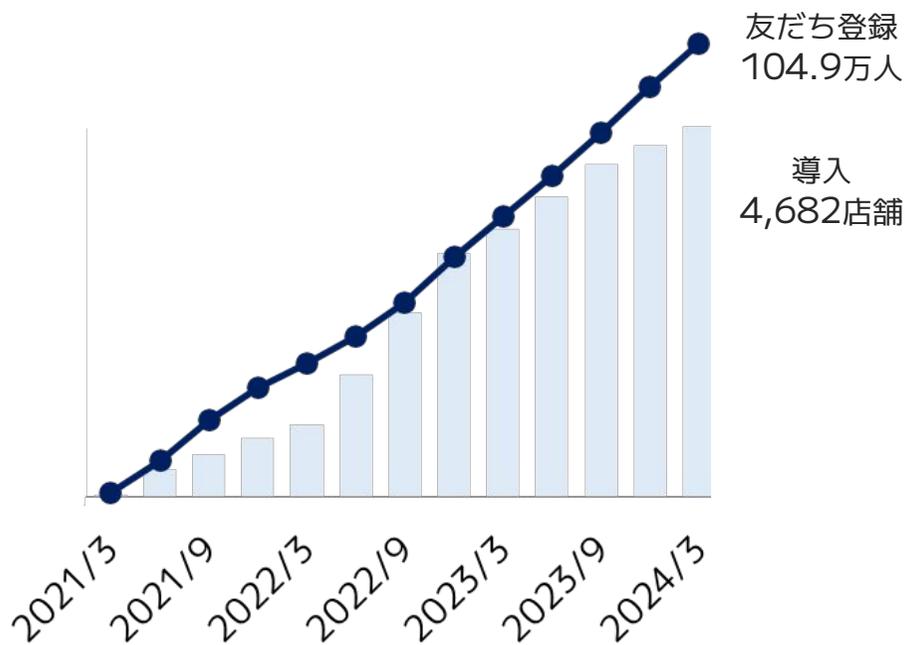
Pharmashift

LINE公式アカウント

つながる薬局

- ・ 友だち登録は104.9万人、導入店舗数は4,682店舗に増加
- ・ 診療報酬改定を受けて医療DXに取り組む薬局の引き合いが急増、受注好調

■ 友だち登録・導入店舗数



■ 友だち登録数が100万人を突破

- ・ 2024年2月、サービス開始から2年11か月で100万人到達
- ・ 他の調剤薬局の公式アカウントを大きく引き離してNo.1



■ 診療報酬改定に伴う導入ニーズの高まり

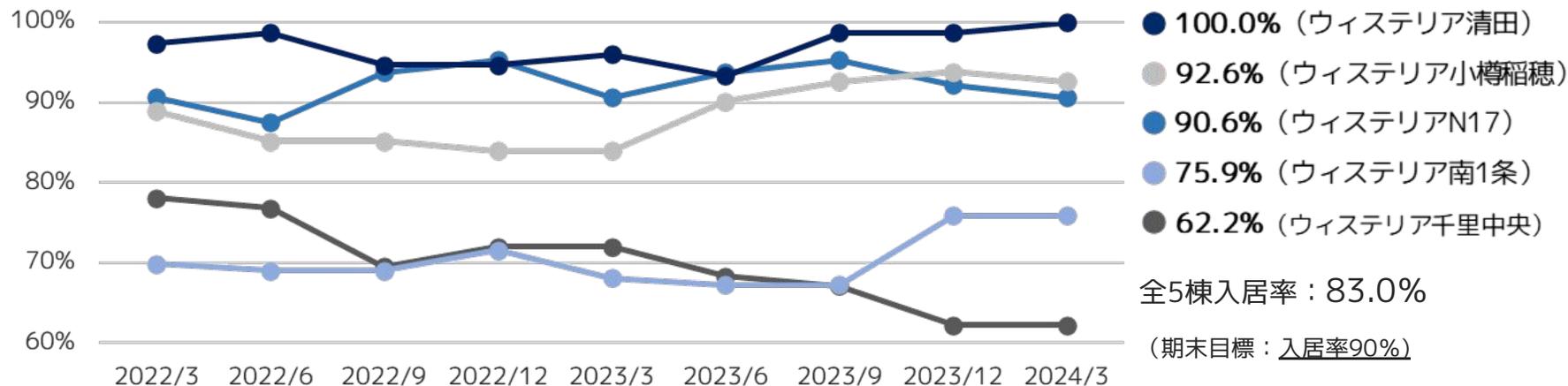
連携強化加算
**オンライン
服薬指導**
の体制

地域支援体制加算
服薬フォロー
かかりつけ薬剤
師指導料獲得へ

地域支援体制加算
在宅支援機能
開発中、在宅調
剤管理の実績へ



ウイステリア入居率の推移



- ・ 新規入居65件、退去54件
- ・ 相談対応強化による退去減少、新規受入れ体制の見直しでウイステリア南1条の入居率向上
- ・ 人員配置と広告宣伝費を見直し

✓ 賃貸・設備関連事業 売上高 3,611百万円 (前期比 +3.3%)
営業利益 158百万円 (前期は営業損失 92百万円)

※ 薬局開発に係る経費を賃貸・設備関連事業から地域薬局部門へ振替 (経費振替額 147百万円)



3

2025年3月期
重点施策と
業績予想

第6次中期経営計画（2023年3月期～2026年3月期） 3年目

環境変化への“予測的対応”による収益堅持と事業間連携の“具体的取り組み実行”

地域薬局部門

■ “まちのあかり”として薬局機能を強化

- ・ 医療マインドの醸成と対人業務の強化
- ・ 医療DXへの着実な対応
- ・ エリアを考慮した戦略的出店の加速



2025/3 期末目標
7,000店
(+2,002店)

薬局支援3事業※

※ 医薬品ネットワーク部門
医薬品製造販売部門
デジタルシフト部門

■ 事業間連携の実行と新サービスの開発

- ・ 事業横断的マーケティング体制の構築
- ・ 既存サービスの刷新及び新サービス開発
在庫管理システム「LINCLE」
在庫情報共有サービスの拡充
つながる薬局 新サービス開発 など

医薬品ネットワーク

2025/3 期末目標
10,756件
(+1,000件)



つながる薬局

2025/3 期末目標
5,700店
(+1,018店)



賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業

■ 物価上昇への対策と不採算部門の見直し

投資・財務戦略

■ “新たな成長モデル”への投資

- ・ 新規事業として医薬品物流会社メディロジネットを設立
- ・ 医薬品ネットワーク基幹システム・顧客管理システム
- ・ コストコントロールの継続による利益確保、資本積上げ



なの花薬局

■ 医療マインドの醸成と質の高い薬物治療の提供

- ・ 薬学ケア向上のための継続教育
- ・ 在宅医療とかかりつけ薬剤師の推進
- ・ 地域支援体制加算3, 4の取得に注力

■ 医療DXへの着実な対応

- ・ 医療DX加算の取得に注力（マイナ保険証の利用促進）
- ・ つながる薬局等を活用した処方箋獲得

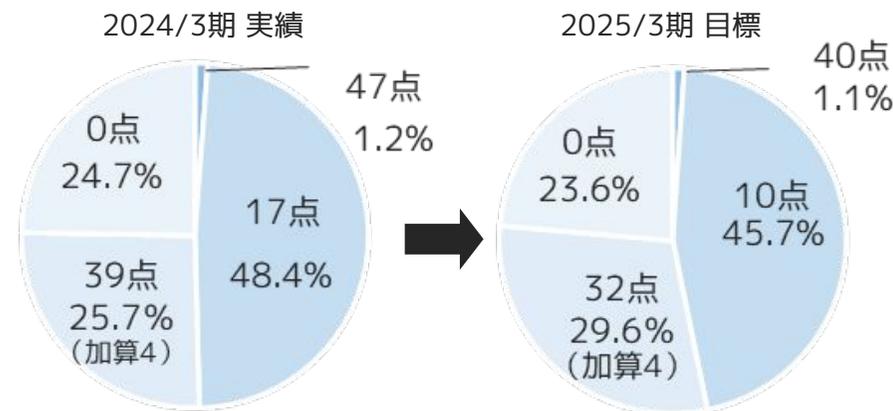
■ 医療モールを中心とした店舗開発（20店舗）

- ・ モール型店舗を中心とした新規出店で、中長期的な成長力を維持
- ・ 既存医療モールへの開業希望医師の誘致

■ 適切なコストコントロール

- ・ 生産性の向上

【地域支援体制加算 算定目標】



※ 枚数ベースにて計算

【出店実績と目標店舗数】



医薬品ネットワーク

■ 期末目標加盟件数 10,756件（純増+1,000件）

■ 流通改善の推進

- ・ 当社直営薬局 平日1日1回納品・土曜納品なし、急配減
- ・ 上記施策を一般加盟店にも拡大
- ・ 在庫情報共有システムの利用者拡大

■ 基幹システムの改修、刷新

- ・ 業務系システムの刷新
- ・ DSE（不動態在庫消化サービス）システム刷新

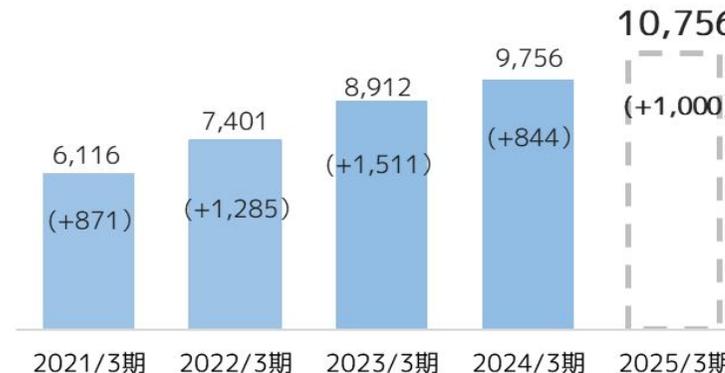
■ サービスの拡充

- ・ 加盟店の枠を超えたエリアネットワークの構築
- ・ 当社直営薬局の教育・研修を加盟店向けにサービス化
- ・ 改定対応支援サービス、在宅サービスの拡充



【加盟件数の推移】

（単位：件）



【LINCLEはちのへ】

- ・ 当社が開発・提供する薬局向け在庫管理システム「LINCLE」のテクノロジーを活用した調剤実績共有サービス
- ・ 医薬品卸の急配の削減や災害時の医薬品調達等に活用
- ・ 2024年7月サービス開始予定



全149薬局中
63薬局が登録希望
50薬局が検討中
(2024年4月17日時点)

【八戸地域保健医療圏】



■ 安定供給

■ 取引店舗の拡大

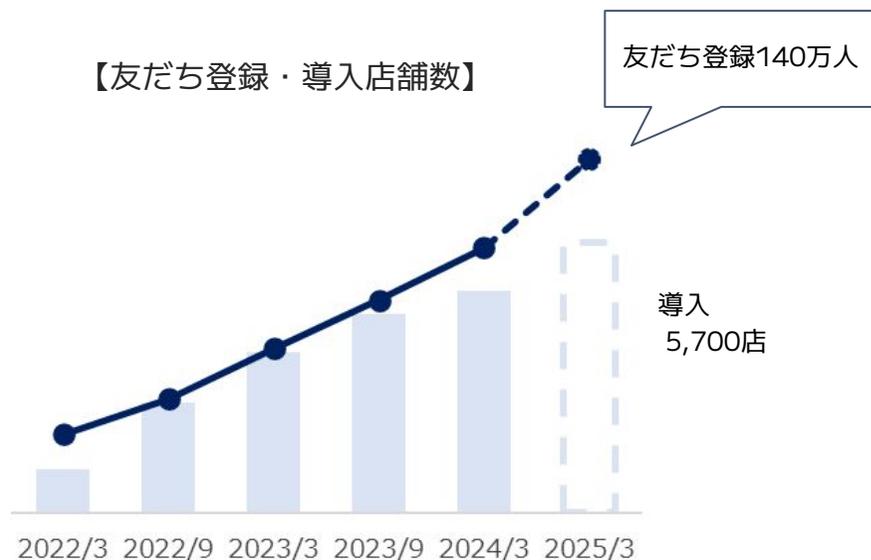
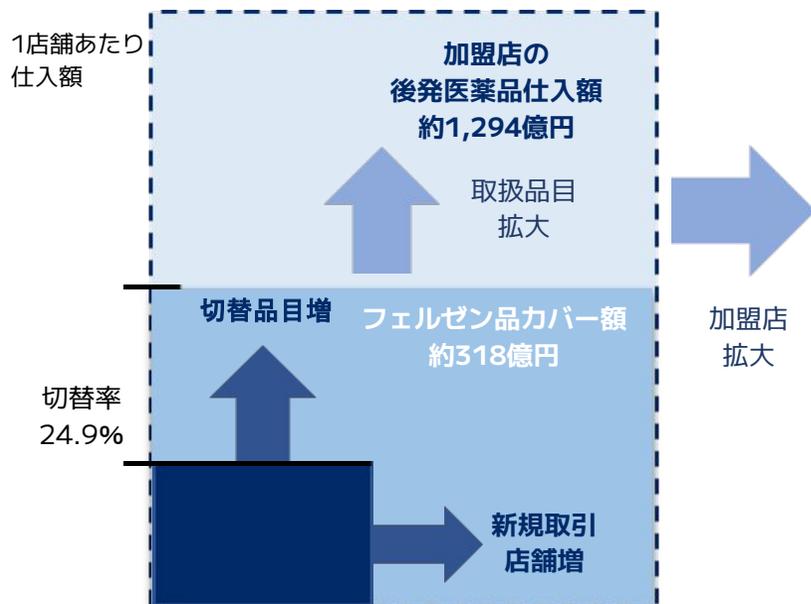
- ・ ネットワーク加盟店へのシェア大幅拡大
- ・ 一般薬局への販売拡大
- ・ 取扱店舗数 7,000店舗 (+2,002店)
(ネットワーク加盟店を含む)
- ・ 売上高 44億円 (前期比+36.7%)

■ LINE公式アカウント導入店舗の拡大

- ・ 2025年3月末 導入 5,700店 (+1,018店)
- ・ 友だち登録 140万人 (+35万人)

■ 機能強化の継続

- ・ 診療報酬改定に対応する機能の充実
- ・ 在宅業務支援機能の開発
- ・ 決済機能の強化



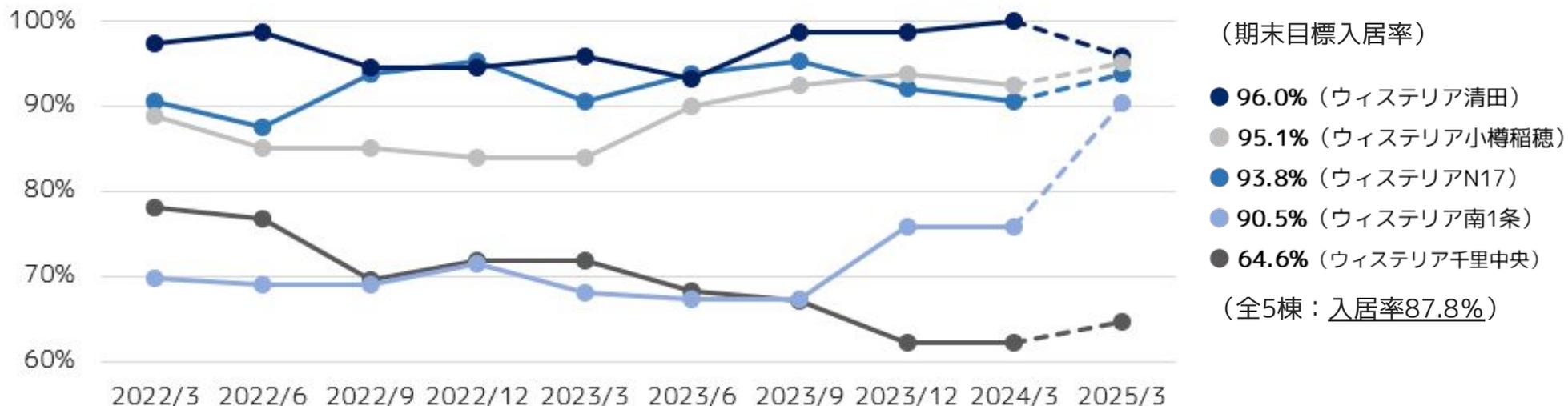


■ ウィステリアの入居率向上・安定稼働

- ・ 新たな営業ルートの開拓、集客イベントを開催し新規入居者の獲得
- ・ 「相談」業務の質の向上による転居退去の抑制

■ 適切なコストコントロール

- ・ 労務費のコントロール及び効果的な広告宣伝の実施



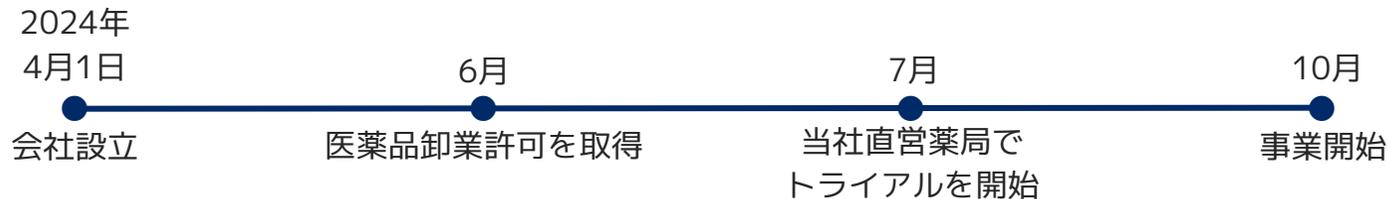
MEDI LOGI NET

■ 設立目的

- ・ 医薬品ネットワーク部門におけるネットワーク加盟店向けサービスの向上
- ・ 安心、安全かつ効率的な医薬品物流を図り、医薬品の安定供給等の社会課題の解決に貢献

■ 事業概況

- ・ フェルゼンファーマが製造販売する後発医薬品を中心とした医薬品等の物流
- ・ 2024年10月より事業開始



 FELDSENF PHARMA



発注



入荷



 **MEDI LOGI NET**



【物流委託】

オンライン受注



出荷

(指定配送業者がお届け)

2025年3月期 業績予想 — 連結業績

賃上げ、及び新規事業（物流会社）の創業赤字の影響はあるものの、医薬品ネットワークの加盟件数順伸、処方箋応需枚数の増加、給食事業の改善を見込み、売上・利益は増収増益を予想

(単位：百万円)	2024/3期 実績	2025/3期 予想	増減額	増減率
売上高	115,361	122,000	+ 6,638	+ 5.8 %
EBITDA 利益率	6,997 6.1 %	7,450 6.1 %	+ 452 0.0 pt	+ 6.5 %
営業利益 利益率	3,832 3.3 %	4,000 3.3 %	+ 167 ▲0.0 pt	+ 4.4 %
経常利益 利益率	3,825 3.3 %	3,950 3.2 %	+ 124 ▲0.1 pt	+ 3.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	1,860 1.6 %	2,000 1.6 %	+ 139 0.0 pt	+ 7.5 %
1株当たり当期純利益 (円)	61.89	68.43	+ 6.54	—

2025年3月期 業績予想 – セグメント別業績

■ 売上高

		(単位：百万円)					
		2024/3期 実績	2025/3期 予想	増減額		増減率	
売上高		115,361	122,000	+ 6,638		+ 5.8 %	
	地域薬局ネットワーク事業※	109,904	116,819	+ 6,915		+ 6.3 %	
	賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	6,285	6,255	▲ 30		▲ 0.5%	
	調整額	▲ 828	▲ 1,075	▲ 246		-	

■ 営業利益

		(単位：百万円)						
		カッコ内は利益率						
セグメント利益		3,832	(3.3 %)	4,000	(3.3 %)	+ 167	▲ 0.0pt	+ 4.4 %
	地域薬局ネットワーク事業※	6,433	(5.9 %)	6,435	(5.5 %)	+ 1	▲ 0.3pt	+ 0.0 %
	賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業	70	(1.1 %)	228	(3.7 %)	+ 158	+ 2.5pt	+ 223.3 %
	調整額	▲ 2,671	(-)	▲ 2,664	(-)	+ 7	-	-

※ 地域薬局部門、薬局支援3事業（医薬品ネットワーク部門、医薬品製造販売部門、デジタルシフト部門）

2025年3月期 業績予想 - 前期比

■ 売上高

(単位：百万円)



■ 営業利益

(単位：百万円)



(前年同期比)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予算
既存店処方箋枚数	+3.8%	+1.8%
既存店処方箋単価	▲0.7%	▲1.1%

※1 2024年4月に設立した株式会社メディロジネットの創業赤字を含む
 ※2 新規出店20店舗の費用が先行

注) 「既存店」は、2024年3月期は2022年4月1日以降、2025年3月期は2023年4月1日以降継続して開局している店舗が対象

2025年3月期 配当予想について

■基本方針

財務体質の強化、事業規模の拡大、人材育成等のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に見合った形で株主の皆様へ安定した配当を継続して実施していく方針

■2025年3月期 配当予想

2025年3月期の配当予想は、連結業績予想を踏まえ、中間配当金・期末配当金それぞれ1株につき6円とし、1株当たりの年間配当金は12円を予定

【株主還元指標】

■2024年3月期（見込）

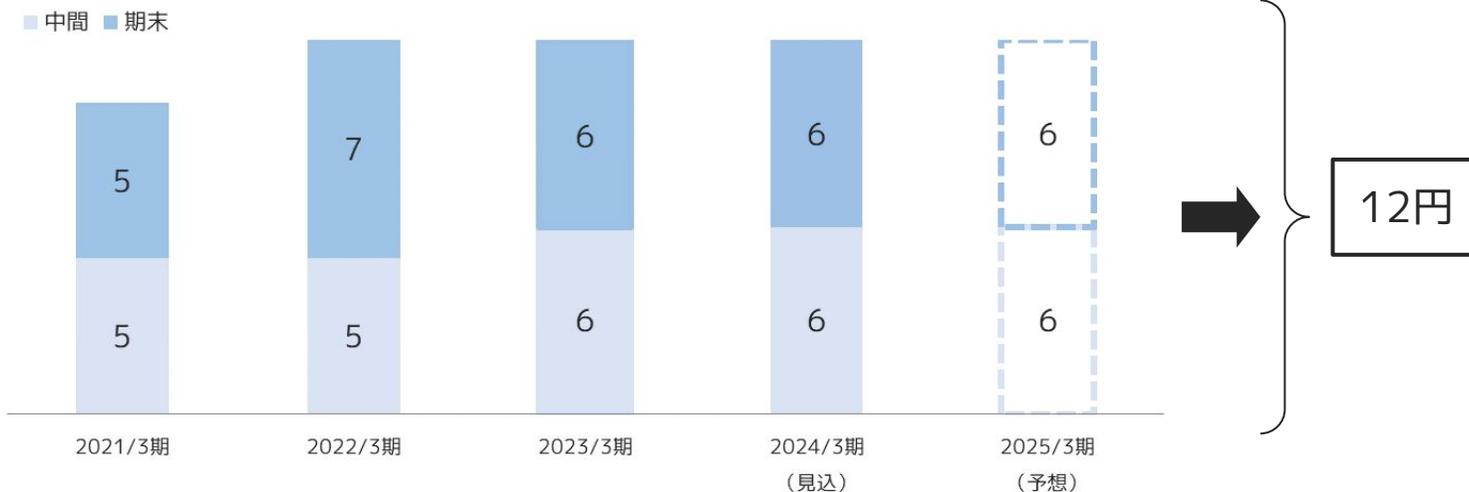
1株当たり年間配当金 12円
配当性向 19.4%



■2025年3月期（予想）

1株当たり年間配当金 12円
配当性向 17.5%

【1株当たり年間配当金推移】





4

参考資料

2024年度診療報酬改定 一調剤報酬点数表①【調剤基本料】

改定前

	要件	点数
調剤基本料1	【下記に該当しない薬局】	42点
調剤基本料2	①処方箋受付回数月1,800回超+集中度95%超 ②処方箋受付回数月2,000回超+集中度85%超 ③処方箋受付回数月4,000回超+集中度70%超 →薬局と同一建物内に複数の医療機関がある場合は、全医療機関からの受付回数を合算した回数 ④特定医療機関の処方箋受付回数4,000回超	26点
調剤基本料3のイ	①処方箋受付回数月3.5万回超4万回以下+集中度95%超 または不動産賃貸借関係 ②処方箋受付回数月4万回超40万回以下+集中度85%超 または不動産賃貸借関係	21点
調剤基本料3のロ	処方箋受付回数月40万回超または300店舗以上+集中度85%超または不動産賃貸借関係	16点
調剤基本料3のハ	処方箋受付回数月40万回超または300店舗以上+集中度85%以下	32点
特別調剤基本料	1. 保険医療機関と特別な関係（敷地内）かつ集中度70%超 2. 調剤基本料に係る届出を行っていない	7点



改定後

	要件	点数
調剤基本料1	【下記に該当しない薬局】	45点
調剤基本料2	①処方箋受付回数月1,800回超~2,000回+集中度95%超 ②処方箋受付回数月2,000回超~4,000回+集中度85%超 ③処方箋受付回数月4,000回超+上位3つの医療機関の集中度合計70%超 →薬局と同一建物内に複数の医療機関がある場合は、全医療機関からの受付回数を合算した回数 ④特定医療機関の処方箋受付回数4,000回超	29点
調剤基本料3のイ	①処方箋受付回数月3.5万回超~4万回以下+集中度95%超 ②処方箋受付回数月4万回超~40万回かつ+集中度85%超	24点
調剤基本料3のロ	処方箋受付回数月40万回超又は300店舗以上+集中度85%超	19点
調剤基本料3のハ	処方箋受付回数月40万回超又は300店舗以上+集中度85%以下	35点
特別調剤基本料A	保険医療機関と特別な関係（敷地内）かつ集中度50%超	5点
特別調剤基本料B	調剤基本料に係る届出を行っていない	3点

2024年度診療報酬改定 一調剤報酬点数表②【地域支援体制加算】

改定前

基本料	名称	要件	点数
基1	地域支援体制加算1	①～③の基準を全て満たし、④または⑤を満たし、9項目の基準のうち3つ以上満たす ①麻薬小売業者の免許を受けている ②在宅の薬学的管理及び指導回数24回以上 ③かかりつけ薬剤師指導料又は包括管理料の届出 ④服薬情報等を文書提供した実績12回以上 ⑤認定薬剤師が多職種連携会議に1回以上出席	39点
	地域支援体制加算2	地域支援体制加算1の要件を満たした上で、9項目の基準のうち8つ以上満たす	47点
基1以外	地域支援体制加算3	麻薬小売業者の免許を受けている上で、9項目の基準のうち④、⑦を含む3つ以上満たす	17点
	地域支援体制加算4	9項目の基準のうち8つ以上を満たす	39点

改定後

基本料	名称	要件	点数
基1	地域支援体制加算1	④を含む3項目以上	32点
	地域支援体制加算2	①～⑩のうち8項目以上	40点
基1以外	地域支援体制加算3	④、⑦を含む3項目以上	10点
	地域支援体制加算4	①～⑩のうち8項目以上	32点



※1 特別調剤基本料A：それぞれの点数の100分の10に相当する点数

※2 特別調剤基本料B：算定不可

2024年度診療報酬改定 一調剤報酬点数表②【地域支援体制加算】

改定前

実績項目	実績基準
①時間外等加算、 夜間・休日等加算 400回	直近1年間の処方箋 1万枚あたり
②調剤料の麻薬加算算定回数 10回	
③重複投薬・相互作用等防止加算 40回	
④かかりつけ薬剤師指導料等 40回	
⑤外来服薬支援料 12回	
⑥服用薬剤調整支援料 1回	
⑦単一建物診療患者が1人の 在宅薬剤管理 24回	
⑧服薬情報等提供料 60回 ※同等の業務を行った場合を含む	
⑨認定薬剤師が 多職種連携会議に5回以上出席	薬局あたりの 直近1年間の実績



改定後

施設基準	調基1		調基1以外	
	加算 1	加算 2	加算 3	加算 4
①時間外等加算、 夜間・休日等加算実績	40回以上		400回以上	
②薬剤調製料の麻薬調剤時加算実績	1回以上		10回以上	
③重複投薬・相互作用等防止加算実績	20回以上		40回以上	
④かかりつけ薬剤師指導料等算定実績	20回以上		40回以上	
⑤外来服薬支援料1の算定実績	1回以上		12回以上	
⑥服用薬剤調整支援料1・2の算定実績	1回以上			
⑦単一建物診療患者が1人の 在宅薬剤管理実績	24回以上			
⑧服薬情報等提供料の算定実績	30回以上		60回以上	
⑨小児特定加算の算定実績	1回以上			
⑨認定薬剤師の 地域多職種連携会議への参加	1回以上		5回以上	

※①～⑨は処方箋1万枚あたりの年間回数、⑩は薬局あたりの年間の回数

2024年度診療報酬改定 一 調剤報酬点数表③

【連携強化加算】

点数	
改定前	改定後
2点	5点
※地域支援体制加算の該当の要件は廃止	

【医療DX推進体制整備加算】 新

主な算定要件	点数
オンライン資格確認により取得した診療情報・薬剤情報を実際に診療に活用可能な体制を整備し、電子処方箋及び電子カルテ情報共有サービスを導入し、質の高い医療を提供するため医療DXに対応する体制を確保した場合	4点 (月1回)

算定要件（一部抜粋）

- ・オンライン資格確認を行う体制を有していること
- ・電子処方箋を受け付ける体制を有していること

※ 特別調剤基本料Bを算定する保険薬局は算定不可

【敷地内薬局の評価について】

	特別調剤基本料A（5点）	特別調剤基本料B（3点）
地域支援体制加算	それぞれ100分の10に相当する点数	算定不可
後発医薬品調剤体制加算		
連携強化加算	外来感染対策向上加算、感染対策向上加算の届出を行った保険医療機関の場合、算定不可	
薬剤料	処方につき7種類以上の内服薬（特に規定するものを除く。）の調剤を行った場合には、所定点数の100分の90に相当する点数により算定	

地域住民の健康を支える企業として、持続可能な社会の実現と持続的な成長の両立を目指します

環境保全への取り組み



【医薬品の流通合理化】

- ・ 返品・急配の削減や定期発注等、配送頻度の適正化によりCO₂の排出削減
- ・ 医薬品ネットワーク加盟店間で不動態在庫の売買、在庫管理システムによる適正在庫管理により、医薬品廃棄を削減
- ・ 医薬品ネットワーク加盟店間の医薬品在庫共有の取組



社会への貢献



【移植医療の普及啓発】



【障がい者雇用支援・漢方原料国内生産支援】



【スポーツを通じた健康増進】



ガバナンスの強化



- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ リスク管理体制の構築
- ・ 財務体制整備
- ・ 迅速かつ正確な情報開示



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

なの花薬局 新CM公開中！



新CM YouTube QRコード



クリック

株式会社
メディカルシステムネットワーク

<https://www.msnw.co.jp>

MSNW

検索

【お問い合わせ先】

経営管理部

TEL : 011-613-7750

E-mail : info@msnw.co.jp